

刊夕日四月四

常磐毎日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告料 五號十二字 第一行 金五円
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

郷土の花 山崎伍長 (六)

飯野小學校生徒合作

(室井前進。次から次へとどん／＼前進。軍戦死者は邪魔にならぬ所に。出場者全部舞臺を通過した後遠く幕裏へ準備室にて萬歳の聲……)

…琵琶…

戦すんで日がくれて人情隊長矢野大尉戦蹟視察に来てみれば風しよう／＼と生ぐさく伏屍壘々山をなし

— 中隊長登場。悲痛な面影にて—

鮮血滔々河をなす斯くまで部下を死しては頭をたれる—
 天皇陛下に申しわけなし
 また親御に相濟まぬ
 — 歩きはじめる—
 萬感胸に打ちせまり
 くまなく屍体の胸をなで
 子を奪はれし虎の如
 うちしほれつゝ檢すれば
 — 最後に山崎伍長の所
 にくる—

中隊長「おゝまだ大丈夫だ傷は浅いぞ しつかりしろ！ 何だ山崎ではないか？ 山崎伍長！ 傷は浅いぞ!!!」

…琵琶…
 呼ばれて伍長はハツと思

山崎「あゝ……中隊長殿山崎は兩足をやられて、立つて敬禮出来ません。許して下さい。」
 — トゲレ／＼、大部苦しさう—

…琵琶…

いはれて中隊長は胸迫り齒をかみしめて男泣き斯くまで軍人の精神を守つて亂さぬ健かさしはし言葉も出でざりき
 然し大尉はおもむろに中隊長「山崎伍長！ 傷は浅いぞ！ しつかりしろ野戦病院まで氣をたしかに」

— 悲痛な聲にて元氣をつける—

硝酸をつけて變色する金は十二金以下、硝酸をつけ更に灰汁で擦つて變色せぬ金は十八金以上。

…琵琶…
 中隊長は手をとりにやほらと伍長を抱き上げ野戦病院の假小屋へつれゆく様ぞあはれなり
 中隊長殿！ 山崎は足をやられて敬禮は

立つて出来ぬ許せよと血をばく如き言の葉は軍人精神の五ヶ條を

二明日の献立二
 【朝】煮染…金びらごぼろ
 【晝】ごま酢あへ…はす
 ごま 酢あへ
 【晩】にしめ…つと狹ゆば やき豆腐

心に守るこの言葉
 山崎伍長のこの言葉
 天地の端にひびくらん
 天地のはちに響くらん
 ……幕…
 をはり



春
 窪田 志朗
 青い空！

春は…
 白雲に乗つて
 窓から窓へ
 彼女たちに訪れる

陸の上に
 海の上に
 彼女たちの
 朗らかな
 コーラスが
 轉がつて行く
 青い空！

かまぼこ製造
 儀式用
 お惣菜用
 さつま揚
 吉原揚
 平町一丁目
 電話一四一番

イヤ！ 君！
 いゝ冬服を求めたね
 断然三三年型だよ
 いやコレカネ！
 ……例の「ソレ」
 正札堂さ
 六四三電通場車停目丁四平

花柳病科専門
 木村外科醫院
 入院自炊の便あり
 平町五丁目橋際
 電話三〇九番

第二小學校制服
 新學期も近づきましたお嬢ちゃん御通學に運動に理想的な…當店特製の第二校制服をお奨めします
 生地・裁縫共に充分吟味して御座います
 上紺サージ製(スカート共)
 3.60 錢より

御贈答に!!!
 記念品に!!!
 諸景品に!!!
 漆器を!!!
 誠實勉強
 親切第一
 在庫豊富
 是非御用命を
 ドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ
 ル、ヌリモノミセ
 平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)
 各國産漆器
 専門卸小賣
 漆器店
 店員募集 十三才位 小 店員
 三十才迄位 外 店員

新形提灯賣出し
 櫻の節も愈々近づきました
 ……店頭…店内…の裝飾に
 最新形の提灯を御利用下さい
 電燈等用櫻花コード付 提灯 一ヶ 三十五錢
 櫻模 様付 角形 提灯 〃 三十八錢
 櫻模 様ハード形 提灯 〃 三十錢
 櫻模 様 中 柳 提灯 〃 二十五錢
 スガノヤ提灯店
 電話九五番

耳鼻咽喉科専門
 氣管食道科
 平南町(電話一七〇番)
 大和田醫院

ふかや洋服店
 平二 203 電

橋本磐中校長

高田師範校長に

其他警中職員の異動

警城中學校長橋本文壽氏が新潟縣高田師範學校長に轉任と決定した外同校職員に左の異動があつた
△河野秀吉氏相馬中學へ△本多忠二氏相馬高女へ△米澤保氏宮城古川中學へ△齋藤榮氏相馬高女より

母校の記念

事業費一千圓

商友會が決定

平商友會にては昨夜七時よりマルトモホールに於て役員會を開き決算及び豫算の審議をなした外に來る五月十日の母校創立二十周年記念祝賀事業費の豫算を決定したが収入は會員一人一圓以上の寄附五百圓、平町補助百圓、本會協賛四百圓、計一千圓にて支出は母校に對する野球バックネットを初め追悼會、講演會、勤績恩師慰勞、職員一同及び來賓に對する記念品代等の合計一千圓である

十八錢高値

平倉庫の米共賣

石城販賣利用組合平農業者の庫共同販米は去る二日行はれ入札米二十六俵入札せし結果四等建値八圓卅一錢を以て平町石井重太郎氏に落札したが去月廿五日の大浦倉庫建値八圓十三錢に比對する水利權取消の至難である事の障害に衝突した結果、茲に江筋組合と水利會社の兩者が共に

農民の血涙史

往時を想起

翌年の縣會に於ける古川縣議の鮫川發電所問題に關する熱烈な質問の論陣は俄然大衝動を捲き起した

大衝動を

捲き起した
縣當局も事の解決に非常な責任を感じ急速に調査を進めたが依然として會社側

較すると十八錢の高値を見た

警中上級進學

警城中學校卒業生鈴木一夫君は長野上田蠶糸専門學校、大宮原茂夫、石倉道朗、鈴木

院長石山博士が

一切を經營する

警城共濟病院の改革

去る二日臨時總會を開き警城共濟病院は今後理事の合議制となし經營の一切は現院長石山博士に委任する事となつたが會員の特別待遇は従前と變りがないと

警中警女共に

擔任教諭決定

警城中學校及び警城高等女學校にては本始業式及び入學式を舉行し明日より新授業を開始する事になつたが兩校に於ける本年度各學年の擔任教諭は左の如くである

- △警中 一ノ一下 平一ノ二豊口 一ノ三新任 一ノ四同 一ノ五大淵 二ノ一佐々 二ノ二中島 二ノ三中柴 二ノ四齊藤 菊 二ノ五柴田 三ノ一高清水 三ノ二野口 三

公園の賣店決定

抽籤して十三名を

- △三吉田 三ノ四鈴木 三ノ五樋口 四ノ一館野 四ノ二廣木 四ノ三渡邊 四ノ四山名 四ノ五菅野 五ノ一今 五ノ二大橋 五ノ三大村 五ノ四根本 五ノ五谷澤
- △警女 一ノ一田中 一ノ二穴井 一ノ三武田 一ノ四金澤 二ノ一酒井 二ノ二山口 二ノ三大川 二ノ四菅波 三ノ一永島

平商軍事講演 平商學校にては來る十四日湯本町出身參謀本部付歩兵大尉若松七郎氏が亡父百日祭の爲め歸郷するのを機とし一場の講演を乞ふと

既報松ヶ岡公園の賣店設置申込は七十六名の多數に及んだので本日午前十時より役場會議室にて有資格者六十九名の内から抽籤を行つた結果左記十三名と決定した

- (南町)大越タカミ 笹目 八郎 小松茂 關口フク (紺屋町)瑞幸吉 會川卯三郎(新川町)小名隆雄 藁谷泰智(田町)三浦鶴吉 佐藤正(材木町)中澤トク (白銀町)渡邊マサ(五丁目)篠原新吾

澤渡農事講話

石城郡澤渡村農會では十日午前十時より同村小學校にて役員改選後郡農會青山技手の農村改良に就いての講演會を催すと

平町人事

△南町七五 當時函館市春日町一五石川堅一氏長女 富子

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

市原醫院

平町 田町 電話一四四番

吸入用酸素純度99%



モノサシ
マ ス
ハカリ



体温器
寒暖計

関内藥局

電話四〇番

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

金持産婆毒殺か?

俄然検事局色めき立つ

石城郡平窪村大字中平窪字農ノ口産婆松本セキ(八〇)が去月二十五日服毒自殺を遂げた事は既報の如くであるが當時原因は老衰を悲観しての結果と見られて居た處此程俄然毒殺説が有力になつた爲め平窪検事局にては大捜査を開始した因に同女は數十年來平窪にて産婆を営み相當の蓄財あり貧困者には金品を恵む等慈悲心篤く振産家庭からは頗る氣受けがよかつた由

安部季雄氏來る

婦人俱樂部の巡回講演

大日本雄辯會講談社發行婦人俱樂部の巡回婦人講演會は來る廿四五の兩日平第一小學校及び磐城高等女學校に於て開催されるが講師は數回來平講演した事のある安部季雄氏である

白衣五十着を

訓盲院に寄贈

山崎清三氏的美學

磐城訓盲院の生徒は各患家に入出入する關係上消毒衣の必要を感じて居たが費用が無いので是れを用意する事が出来ずに居た處石城在郷軍人聯合分會長山崎清三氏は今回白衣五十着一人二着宛廿五人分を同院に寄贈した

少年消防入團

平第一小學校少年消防隊にては既報去月十五日平町見町鈴木善太郎方空屋より出火せる際消防に盡力し歸宅後心臓麻痺の爲め死亡せる平消防組第二部伍長高田清一

高田氏の死

追ふて幼兒轢死

三堀検事來任

櫻花香咲初む

公園に忠魂祭

不具となり

悲觀の自殺

子殺母親

懲役四年

本日判決言渡

裁判所だより

坂好子

平職業紹介所報告

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

回人を求める方

禁衛軍

【禁衛軍上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫
佐々木 見山

第三百六席

思案に暮るゝお袖
松崎采女はおそでの考へてゐるを見て

松「どうだ、渡邊との縁を切り菊地先生の許へまゐるか」

そで「渡邊様にも此事はお話しになりましたか」

松「それは申し聞けた」

そで「何と申しました」

松「甚だ残念な事ではあるが據らない、と云うて居つた」

そで「左様でございますか就いてはお見さん此御返事は兩三日間お待ち下さいませ」

松「兩三日待つ程のことでもあるまい菊地先生の許へ参ると云へばそれで此の事は決定いたす、すでに渡邊もなき縁と断念めてゐる」

そで「左様でもございませうが私の身に取つては是れは一大事でございます、何卒暫くお待ち下さいませ」

松「左様か、まことに御前には氣の毒であるが知られる如く菊地先生の爲に拙者も渡邊も助けられて居る故まげて此事は承知いたして貰ひたい」

そで「御尤もとは存じます、が何卒此處二日ばかり御

待たせたい

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

來の爲であらうと思ふ、まア何にしても良く考へて見なさい、しかし否とは云ふまいな」

そで「ハイ、暫く考へさして戴きます」

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

來の爲であらうと思ふ、まア何にしても良く考へて見なさい、しかし否とは云ふまいな」

そで「ハイ、暫く考へさして戴きます」



松「承知いたしました我々の身を篤と考へてくれ」

そで「ハイ見さんと渡邊様のことはお察し申して居ります」

松「然うか返す返すもお前

豫く下さいませ」

松「承知いたしました我々の身を篤と考へてくれ」

そで「ハイ見さんと渡邊様のことはお察し申して居ります」

松「然うか返す返すもお前

豫く下さいませ」

松「承知いたしました我々の身を篤と考へてくれ」

そで「ハイ見さんと渡邊様のことはお察し申して居ります」

松「然うか返す返すもお前

豫く下さいませ」

松「承知いたしました我々の身を篤と考へてくれ」

そで「ハイ見さんと渡邊様のことはお察し申して居ります」

松「然うか返す返すもお前

豫く下さいませ」

時代であつたならば敵味方の目を驚かせる程の勇猛なる顔色である、惜しい事に太平の今日故人々も驚く誠に残念な事だ、人は美目より只心と申す事がある、殊に先生は四远流剣術の達人殿様も頗る御愛しなされ行くは御加増もたまはり物頭に出世いたすであらう物頭と云へば侍大将、事ある場合には士分を率ゐて戦に臨む、雑兵を指揮いたす者ではない」

そで「左様でございますか菊地先生は武藝に達した、御立派な方と存じて居ります」

松「然うか返す返すもお前

豫く下さいませ」

松「承知いたしました我々の身を篤と考へてくれ」

そで「ハイ見さんと渡邊様のことはお察し申して居ります」

松「然うか返す返すもお前

豫く下さいませ」

松「承知いたしました我々の身を篤と考へてくれ」

そで「ハイ見さんと渡邊様のことはお察し申して居ります」

松「然うか返す返すもお前

豫く下さいませ」

松「承知いたしました我々の身を篤と考へてくれ」

そで「ハイ見さんと渡邊様のことはお察し申して居ります」

松「然うか返す返すもお前

豫く下さいませ」

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

來の爲であらうと思ふ、まア何にしても良く考へて見なさい、しかし否とは云ふまいな」

そで「ハイ、暫く考へさして戴きます」

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

來の爲であらうと思ふ、まア何にしても良く考へて見なさい、しかし否とは云ふまいな」

そで「ハイ、暫く考へさして戴きます」

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

來の爲であらうと思ふ、まア何にしても良く考へて見なさい、しかし否とは云ふまいな」

そで「ハイ、暫く考へさして戴きます」

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

來の爲であらうと思ふ、まア何にしても良く考へて見なさい、しかし否とは云ふまいな」

そで「ハイ、暫く考へさして戴きます」

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

來の爲であらうと思ふ、まア何にしても良く考へて見なさい、しかし否とは云ふまいな」

そで「ハイ、暫く考へさして戴きます」

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

來の爲であらうと思ふ、まア何にしても良く考へて見なさい、しかし否とは云ふまいな」

そで「ハイ、暫く考へさして戴きます」

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

來の爲であらうと思ふ、まア何にしても良く考へて見なさい、しかし否とは云ふまいな」

そで「ハイ、暫く考へさして戴きます」

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

來の爲であらうと思ふ、まア何にしても良く考へて見なさい、しかし否とは云ふまいな」

そで「ハイ、暫く考へさして戴きます」

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

來の爲であらうと思ふ、まア何にしても良く考へて見なさい、しかし否とは云ふまいな」

そで「ハイ、暫く考へさして戴きます」

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

來の爲であらうと思ふ、まア何にしても良く考へて見なさい、しかし否とは云ふまいな」

そで「ハイ、暫く考へさして戴きます」

松「然うか、渡邊の許へ参るより先生の許へ参るが後

胃腸病薬の王座を占むる純漢法薬

松前 家傳 **靈効散** (無効返金)

ホントに北海道で出来た靈薬が着荷致しました。今迄は福島市内で製薬したので兎角の批評がありましたが今度のもは真正のもので奏効確なものです。服用しなくては其の眞價が判りませぬから、皆様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて下さい。見本品でも二日間飲まれますから胃腸病に苦しむ方、惱病、心臓、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致します。小児用の靈効散も出来ました。

定價
試用分(八日分) 輕症用(廿日分) 五十錢
重症用(四十五日) 壹圓

販賣部 地方代理店 **阿康藥舖**
靈効散 電話四四番

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性腸病

病林 十二指腸 腸虫病

門專 院醫科 松村 町南平

〇七一話電

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める

川崎 文庫 電六三〇番

申込次第(規則書進呈)

耳鼻咽喉科専門 **大和田醫院**

平町南町 電一〇七

愈々お待ち兼ねの新車!!!

三三三 型年 **スペツィヤル・セダン**

高級貸切 **不二タクシー**

電 3 2

御入學、御進級、御卒業ノ プレセントニハ是非御時計ヲ 御用命ハ……驛前通りノ **星野時計店** へ願マス

記念トシテ來ル廿六日迄粗景品付 正札ノ一割引特賣御修繕ハ大勉強 致シマス

大和

平町南町 電一〇七